

令和4年度  
(2022年度)

# 学校関係者評価報告書

令和4年(2022年) 4月 1日から

令和5年(2023年) 3月31日まで

令和5年(2023年)9月28日

学校法人吉田学園  
吉田学園公務員法科専門学校

## ■令和4年度 学校関係者評価について

〈説明〉

本校が、教育研究水準の向上や活性化に努めるとともに、その社会的責任を果たしていくため、教育理念や学校の目標と教育の実態とを照らし合わせ、自らの教育研究活動等の状況について自己点検し、現状を正確に把握・認識した上で、その結果を踏まえ、優れている点や改善を要する点など自己評価を行った。

### 1. 実施日時

令和5年9月28日(木) 18:00～18:40

### 2. 実施場所

吉田学園公務員法科専門学校 7階703教室

### 3. 実施方法

#### (1)実施組織:学校関係者評価委員会

##### ○学校関係者評価委員

島口 義久 (札幌狸小路商店街振興組合 理事長)

薩来 翔希 (石狩湾新港管理組合総務部管理グループ)

渡邊 柊 (札幌市西区保健福祉部保護三課一係)

##### ○学校職員

河原 範毅 (吉田学園公務員法科専門学校 校長)

齋藤 勤 (吉田学園公務員法科専門学校 副校長)

中畑 賢一 (吉田学園公務員法科専門学校 学科長)

岩城 浩司 (吉田学園公務員法科専門学校 主任)

(2)評価基準:文部科学省「専修学校における学校評価ガイドライン」に準拠する。

(3)評価方法:学則、教務内規、学生便覧やシラバスに記載されている教育目標や指導規定、中期学科計画などと照らして各種評価を行い、自己点検・評価委員会を開催し、学校として自己点検・評価を取りまとめている。

### 4. 評価項目

次の11項目について実施

(1)教育理念・目標

(2)学校運営

(3)教育活動

(4)学修成果

(5)学生支援

(6)教育環境

(7)学生の受け入れ募集

(8)財務

- (9) 法令等の遵守
- (10) 社会貢献・地域貢献
- (11) 国際交流

## 5. 評価項目に対する評価

(1) 4段階で点数評価した。

4:適切 3:ほぼ適切 2:やや不適切 1:不適切

(2) 委員会で提出された意見や質疑、提案事項を記載

① 全体を通しての評価結果に対するご意見、ご質問等

(委員からの意見)

同窓会のような大きなイベントも大事ですが、「繋がる」という意味では、卒業年度や同業種毎の繋がりを維持出来るようなシステム構築を期待したい。

(学校より)

組織化するための名簿管理をどうするのか、繋がるためにどのようなアイテムを利用するのか検討が必要である。まずは小単位から徐々に広げられたら良いと考えている。また、学園全体でも、今後卒業生との関係をどの様にしていくかが話題に上がっており、検討していく。

② 学校に対するご意見、ご要望、ご質問

(委員からの意見)

現在、狸小路商店街は人手不足に悩んでおり、もし、可能であれば学校側に協力(求人斡旋)を依頼したいと考えている。在学中に放課後等で学校近隣にてアルバイトすることは、学校としてどの様に考えているのか。また、商業地域にある学校と、近隣企業との関係性について、どの様に考えているのか。

(学校より)

近隣の学校であるため、必ず受験させる確約は出来ないが、アルバイト求人を学生に紹介することは可能である。求人票を紹介することで、アルバイトするきっかけになり、その経験が就職活動、特に面接試験に活きると考えている。ただし、アルバイトが学業に支障を来していると判断した場合、指導対象とする。また、今後、様々な観点から商店街と学校で、互いに協力し合うことも出来るのではないかと考えている。

(学校より)

地域貢献の一つとして、10月に学校近隣の町内清掃を計画している。

(委員からの意見)

創成川の清掃、特に川底に散乱しているゴミの回収に苦勞している。もし、川底清掃も実施するのであれば指定管理者に連絡しておく。また、年2回、町内で清掃活動を行っており、来年以降、一緒に協力して頂けるか検討してほしい。

## 6. その他

(1) 以下、令和4年度 学校自己点検・評価報告書を併せてご覧ください。

項目1 教育理念・目標

・項目評価 4.0

- ・全ての項目について適切と評価

#### 項目2 学校運営

- ・項目評価 4.0

- ・全ての項目について適切と評価

#### 項目3 教育活動

- ・項目評価 3.9

・(3)-6について、本校は、産学連携授業を補う目的で、学内での職業講話や説明会を実施している。一時期は新型コロナによる影響で全く実施出来ない年もあったが、令和4年度はオンラインも含め複数回実施出来た。ただし、まだまだ十分とは言えない状況である。

各自治体等は独自の説明会を開催しており、それを学生にインフォメーションしている。今後、参加状況を把握することで、その効果を検証し、また、学生のモチベーションにもつなげたいと考えている。

#### 項目4 学修成果

- ・項目評価 3.6

・(4)-4について、数年前から独自の同窓生交流会の実施に向け計画しているが、新型コロナの影響もあり実施が困難であった。

今後も学校独自の同窓生交流会の場を設ける計画を継続し、例えば、卒業年度別グループや職種別グループなど、小単位での実施も視野に入れ、名簿作成から始めたいと考えている。

#### 項目5 学生支援

- ・項目評価 4.0

- ・全ての項目について適切と評価

#### 項目6 教育環境

- ・項目評価 3.7

・(6)-1について、分散登校やオンライン授業を状況に応じて実施したが、新型コロナ感染対策の一つである「身体的距離の確保」が完全とは言えなかった。

現在は、2類から5類に移行したため、今後、この課題に対する対策の必要性は低くなったが、対面授業の重要性(本来の学校の良さ)を意識しつつ、ICTを活用した効率的・有効的な授業研究は継続させ、教育のより一層の充実を図る。

#### 項目7 学生の受入れ募集

- ・項目評価 4.0

- ・全ての項目について適切と評価

#### 項目8 財務

- ・項目評価 4.0

- ・全ての項目について適切と評価

項目9 法令等の遵守

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目10 社会貢献・地域貢献

- ・項目評価 4.0
- ・全ての項目について適切と評価

項目11 国際交流

- ・本校において留学生の受け入れがないため、評価を割愛したことを報告。

以 上